

リタリン錠 10mg

【この薬は？】

販売名	リタリン錠 10mg Ritalin Tablets
一般名	メチルフェニデート塩酸塩 Methylphenidate Hydrochloride
含有量	1錠中 10mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、中枢神経興奮剤と呼ばれる薬です。
- ・この薬は脳内の神経伝達物質であるドパミンを増やし、ナルコレプシーによる過剰な眠気を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

ナルコレプシー

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 患者さんや家族の方は、この薬の治療における役割や依存性などの危険性について、医師または薬剤師から十分に理解できるまで説明を受けてください。
【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】に書かれていることに特に注意してください。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過度の不安、緊張、興奮性のある人
 - ・閉塞隅角緑内障の人
 - ・甲状腺機能亢進のある人
 - ・不整頻拍、狭心症のある人
 - ・過去にリタリンに含まれる成分で過敏症のあった人
 - ・重いうつ病の人
 - ・褐色細胞腫またはパラガングリオーマのある人
 - ・モノアミンオキシダーゼ（MAO）阻害剤を使用している、あるいは使用を中止してから14日以内の人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・てんかんのある人、または過去にてんかんをおこしたことがある人
 - ・心臓に障害のある人、または家族の方に心臓の障害がある人、心臓に重篤ではない異常がある、もしくはその可能性がある人
 - ・高血圧の人、または過去に心不全、心筋梗塞をおこしたことがある人
 - ・脳血管障害（脳動脈瘤、血管炎、脳卒中など）のある人、または過去におこしたことがある人
 - ・精神系疾患（統合失調症、精神病性障害、双極性障害）のある人
 - ・過去に薬物またはアルコール依存症などになったことがある人
 - ・心臓に構造的な異常がある人、または心臓に他の重篤な問題のある人
 - ・開放隅角緑内障の人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用してはいけない薬 [モノアミンオキシダーゼ（MAO）阻害剤、セレギリン（エフピー）、ラサギリン（アジレクト）、サフィナミド（エクフイナ）] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○患者さんまたは家族の方に心臓の障害がある場合は、この薬を使用する前に心電図などの検査が行われます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	リタリン錠 10mg	
一回量	1～3錠	2～6錠
飲む回数	1日2回	1日1回

・この薬には覚せい効果がありますので、不眠に注意し、夕方以降は飲まないようにしてください。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は、1回とばして次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

嘔吐（おうと）、激越（感情が激しくたかぶった状態、落ち着きがない）、振戦（手足のふるえ）、反射亢進、筋けいれん、けいれん（昏睡（意識の消失、刺激に全く反応しない）を続発することがある）、多幸感、錯乱（注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをするなど）、幻覚（実際には存在しないものを存在するかのよう感じる）、せん妄（軽度の意識混濁、興奮状態など）、発汗、潮紅（ほてり）、頭痛、高熱、頻脈、心悸亢進（動悸、脈が速くなる）、不整脈、高血圧、散瞳（さんどう）（瞳孔の拡大）、粘膜乾燥などがあらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、すぐに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・この薬を続けて飲んでいくと、薬を摂取したいと強く思いコントロールが出来ないなど、薬物依存の症状があらわれる可能性があります。このような症状があらわれた場合は、速やかに主治医に相談してください。

- ・この薬を小児が長期に使用した場合に、体重増加の抑制や成長の遅れが報告されています。このような症状があらわれた場合、医師の判断により中止されることがあります。
- ・この薬を長期間使用する場合は、定期的に血液検査が行われることがあります。
- ・この薬を使用中は、定期的に心拍数（脈拍数）および血圧の測定が行われます。
- ・視覚障害（視調節障害、霧がかかったような見え方）が報告されています。このような症状があらわれた場合は、眼の検査が行われます。
- ・この薬の通常の使用量で、幻覚などの精神病症状またはそう病症状があらわれたとの報告があります。このような症状があらわれた場合は医師に伝えてください。
- ・めまい、眠気、視覚障害等が発現するおそれがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- ・アルコールを含む飲食物はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？


特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
剥脱性皮膚炎 はくだつせいひふえん	ほぼ全身の皮膚が発赤する、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる、発熱をしばしば伴う
狭心症 きょうしんしょう	しめ付けられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけられた感じ、冷汗が出る、あごの痛み、左腕の痛み
悪性症候群 あくせいしょうこうぐん	高熱、汗をかく、ぼーっとする、手足のふるえ、体のこわばり、話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、脈が速くなる、呼吸数が増える、血圧が上昇する
脳血管障害（血管炎、脳梗塞、脳出血、脳卒中） のうけっかんしょうがい（けっかんえん、のうこうそく、のうしゅつけつ、のうそっちゅう）	突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かしくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐、突然のめまい、突然しゃべりしくくなる、突然言葉が出しくくなる、発熱、手足のしびれ、皮下出血によるあざ、皮膚の潰瘍（皮膚に穴ができた状態）
肝不全、肝機能障害 かんふぜん、かんきのうしょうがい	意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱をしばしば伴う、冷汗が出る、高熱、汗をかく、体のこわばり、発熱、体がかゆくなる、急激に体重が増える、疲れやすい、体がだるい、力が入らない
頭部	ぼーっとする、突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然の頭痛、突然のめまい、意識の低下
顔面	あごの痛み
眼	白目が黄色くなる
口や喉	話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、突然の嘔吐、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる、血を吐く、吐き気
胸部	しめ付けられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけられた感じ、呼吸数が増える
腹部	お腹が張る、食欲不振
手・足	左腕の痛み、手足のふるえ、脈が速くなる、突然片側の手足が動かしにくくなる、手足のしびれ
皮膚	ほぼ全身の皮膚が発赤する、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる、皮下出血によるあざ、皮膚の潰瘍（皮膚に穴ができた状態）、皮膚が黄色くなる
便	便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
尿	尿の色が濃くなる
その他	血圧が上昇する

【この薬の形は？】

販売名	リタリン錠 10mg
形状	 円形の錠剤（割線入り）
直径	7.0mm
厚さ	2.6mm
重さ	0.14g
色	白色
識別コード	CG 202

【この薬に含まれているのは？】

販売名	リタリン錠 10mg
有効成分	メチルフェニデート塩酸塩
添加剤	乳糖、第三リン酸カルシウム、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、リン酸二水素カルシウム、ゼラチン、タルク、ステアリン酸マグネシウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・この薬を他人に渡すことは、法律で禁じられています。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ノバルティス ファーマ株式会社

(<https://www.novartis.co.jp>)

ノバルティス ダイレクト

電話番号：0120-003-293

受付時間：月～金 9時～17時30分

（祝日及び当社休日を除く）